

本日文教大學に於て授業再開  
歎正大學解体路線を責めよ!

一年有余に及ぶ研究費戦闘止、財政研修部解体へと技術委員会の運営が見だせぬ、どうり田舎裏表、二  
月一日、おこる敵の計略分析、難題を攻める上に  
彈子として、一枚、本田の文部省造幣局に奉納  
集し、技術再開策的研究、大学解体を更に押し進め  
ることとして、陸海軍の戦時的先導的立役者と  
して、昨と同様に國鏡に立つてゐる部分。本田に  
田の文部省造幣の要義と本田の追求集団に譲せら  
れた我々の仕合を明づかにせねばならぬと思ふ  
性にしては至るの公職な民主権力に詳く第一の力とも、  
か。

この種種研究上における本邦内「反対派」に属する人々が  
表象されるとして、かく彼等の「ヨーロッパ大学村」といふ  
年齢にしてゐる我々の「ヨーロッパ化」に対するキセラヨア大学  
解体の記憶を察せしものにててやつたことの記述不外り、そ  
の「ヨーロッパ大学」は彼の個別的利害と「進歩的」に  
統合された「イデオロギー」に他ならず、しかも正常化がなされ  
ないから文部省教育部といった形態下で之に對して、既成  
大學機関としての機能を有する政治、政黨との接觸形態をなし、  
我々の研究所に於ける連絡は甚しく難航をして居たことなど、  
ついでに之に起因する必要があるに就り。

やがて、我々の道場の中にあって反対派の中へ四つ  
の分派生じたことは明らかになつた。一つは、

授業で隣上からの者から誕生日を祝うのが一般的にならぬ

李半通信

1969,7,3

東京教育大學生會  
申委員公請言機閥紙